小6　社会　単元テスト　　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

歴史1 むらから国へ・飛鳥と奈良

＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

制限時間 30分　100点満点　　教科書やノートを見ないで、時間をはかって解きましょう。

1 言葉を書こう　知識・技能　(24点)

(1) 縄文時代の人々が、食べ物のかすなどをすてた場所が積み重なってできたあとを［　　］といいます。 (6点)

(2) 3世紀、30ほどのくにを従え、中国に使いを送った邪馬台国の女王は［　　］です。 (6点)

(3) 朝鮮半島や中国から日本に移り住み、漢字や仏教、土木の技術などを伝えた人々を［　　］といいます。 (6点)

(4) 奈良時代、唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを［　　］といいます。 (6点)

2 えらぼう・直そう　知識・技能　(30点)

(1) 次のできごとを、古いじゅんにならべましょう。 (5点)

ア 平城京に都を移す　イ 小野妹子らを隋に送る　ウ 東大寺の大仏が完成する

エ 中大兄皇子らが蘇我氏をたおす

［　　］→［　　］→［　　］→［　　］

(2) 古墳のまわりにならべられた、人や馬、家などの形をした焼き物は（はにわ ・ 土ぐう）です。 (4点)

(3) 東大寺の大仏が完成した752年は（７ ・ ８ ・ ９）世紀です。 (4点)

(4) 「聖徳太子は、冠位十二階を定めて、役人の心がまえを示した。」下線が正しければ〇、ちがえば直しましょう。 (6点)

［　　］

(5) 中大兄皇子とともに蘇我氏をたおし、天皇中心の国づくりを始めた人物は［　　］です。 (6点)

(6) 米づくりが広まった弥生時代について、正しいものをえらびましょう。［　　］ (5点)

ア たくわえた米や田・水をめぐって、むらどうしの争いが起こった

イ 鉄の道具が広まり、争いが全くなくなった

ウ 土器が初めて作られ、むらどうしの争いが起こった

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら

小6　社会　単元テスト　　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

歴史1 むらから国へ・飛鳥と奈良　2まいめ

3 資料を読もう　知識・技能　(20点)

平城京のあとから見つかった荷札(木簡)に書かれた、送り元と品物の例

送り元(今の県)	品物
静岡県	かつお
福井県	塩
千葉県	あわび

(1) これらの品物は、農民がおさめた税の一つで、都に運ばれました。税の名前は（ 租 ・ 調 ・ 庸 ）です。 (4点)

(2) 品物は、だれが都まで運びましたか。□ (5点)

ア 税をおさめる農民が、自分で運んだ　イ 都の役人が、船で集めに行った

ウ 商人が買い取って、都で売った

(3) 表から分かることをえらびましょう。□ (5点)

ア 都の近くの地方からだけ、品物が集められた

イ 海に面した地方から、その土地でとれる海の産物が集められた

ウ 外国から、めずらしい品物が集められた

(4) 農民には、税のほかに、都や九州の守りにつく□の役目もあり、くらしは苦しいものでした。 (6点)

4 考えて書こう　思考・判断・表現　(26点)

(1) 聖徳太子は、603年に冠位十二階を定めました。それまでの役人の地位の決め方にふれて、ねらいを書きましょう。 (13点)

(2) 聖武天皇のころは、病気の流行や反乱が続き、社会に不安が広がっていました。聖武天皇が大仏を作らせたのはなぜですか。 (13点)